

マイクロスコープをより有効に 活用するための一冊！



GPのためのマイクロスコープを応用した ウルトラソニックインスツルメンテーション

阿部 修・大野純一・景山正登 著

A4判変/82頁 定価：本体6,000円+税
医歯薬出版（2017年6月）

東京都文京区・ネクスト・デンタル
評・林 智恵子（歯科衛生士）



近年、歯科界にもマイクロスコープが普及しはじめ、マイクロスコープを使用した拡大治療にも注目が集まってきました。昨年、マイクロスコープとCTを用いた根管治療が保険収載されたことで、積極的にマイクロスコープについて勉強し、導入される歯科医師が増えてきています。また、それに伴って歯科衛生士もメンテナンスにマイクロスコープを使用し、活用する時代がやってきました。私は本書を手にしたとき、「これは歯科医師向けで、難しいことが書かれているのだろう」と思っていました。しかし「メンテナンスにおけるインスツルメンテーション」という題目においては「歯周基本治療」や「日ごろ行っている処置」にマイクロスコープを使うことで、どのような変化があるのかなどの説明があり一冊全体をとおしてもとてもわかりやすい内容です。

また、「マイクロスコープを使えば誰でもスーパードクターになれる！」と思われている人が多くいらっしゃるようです。しかし、著者の一人である阿部先生は「謙虚に自分のスキルを見つめ直し、常に向上する努力を続ける姿勢が何より大切であり、マイクロスコープはそれに対して大きな力を発揮してくれる」と述べています。私も4年前からマイクロスコープを使用したメンテナンスを行っていますが、やはり日々の努力の積み重ねが重要だと感じており、阿部先生の言葉にとっても共感しました。

また、冒頭には大野先生が「インスツルメンテーション」について、マイクロスコープを使用する以前に「使用する器具の特徴」「器具の操作の基本」「インスツルメンテーションの目的」を熟知していなければ、マイクロスコープの本来の性能を活かすことはできないと書かれています。私も、まさにそのとおりだと思います。後半には景山先生により具体的なマイクロスコープの使用方法や細かな使いこなし術までわかりやすく紹介されています。これからマイクロスコープを使用する人や、すでに使いはじめてはいるものの、上手に使えない人が基礎を学ぶうえで最適の内容となっています。

私自身、多数のマイクロスコープに関するセミナーで講師を務めてきましたが、そこでは「マイクロスコープを導入したがうまく使えない」「うまく見えない」「手を思うように動かさない」という話を聞きます。そういった理由でマイクロスコープが単なる歯科医院のオブジェとなってしまっていることもあるようです。なんとももったいない話です。

マイクロスコープに興味をもちはじめた歯科医師や歯科衛生士にはもちろん有用ですが、導入はしたものの挫折しかかっている方々も、本書を手にするだけでまたチャレンジをしようと思える内容だと思います。